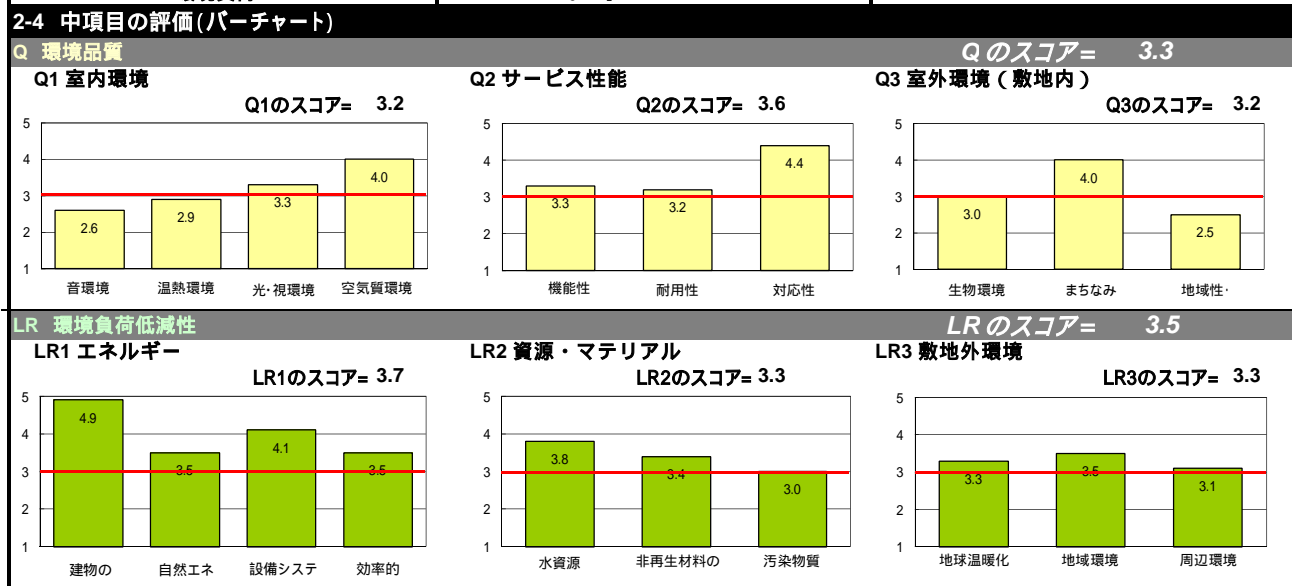
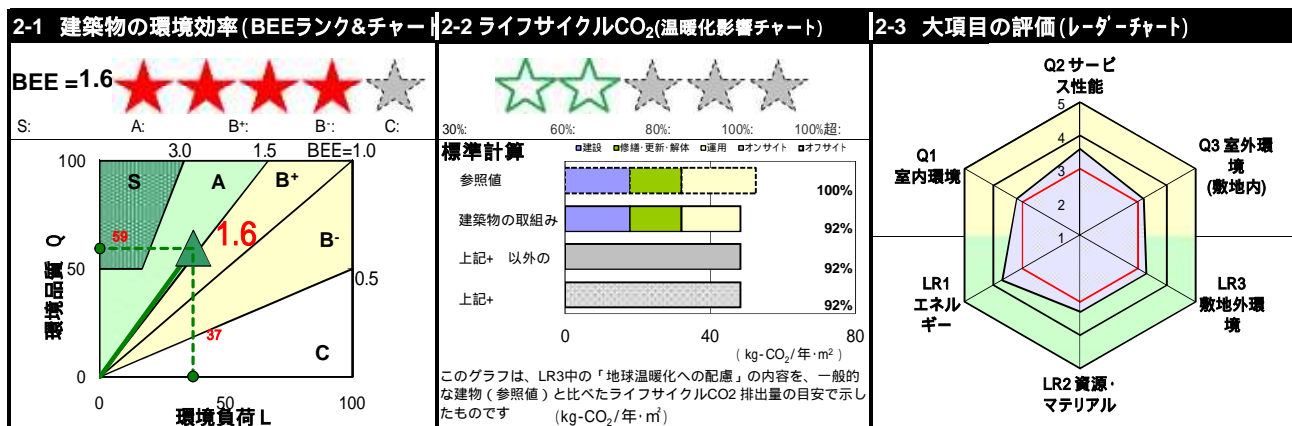


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	福山通運西関東物流C	階数	地上2F
建設地	相模原市中央区田名塩田1-10212-	構造	S造
用途地域	工業専用、防火無指定(法22条地域)	平均居住人員	230人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年9月 予定	評価の実施日	2012年10月26日
敷地面積	25,447 m ²	作成者	安藤建設(株)
建築面積	13,778 m ²	確認日	2012年10月26日
延床面積	24,331 m ²	確認者	安藤建設(株)

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>階層を2階とし、建物高さを必要最低限に抑える事で、周辺環境への圧迫感の防止や生活環境維持に配慮を行った。又、外観も落ち着いた明るい色彩とする事で、景観に配慮を行った。</p>		<p>その他</p> <p>0</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>建物全体として、冷蔵・冷凍庫機能を確保する必要があることから、外部に対する騒音防止に配慮すると共に、内装建材等はF 等級品を採用することで、室内環境の向上に配慮した。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>高天井への配慮や、室内の大空間を形成し、配送業務の利便性追求を図った。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>敷地外周部は緑地とし、樹木は閉鎖性を無くす為、中・低木等を中心に植樹する。敷地内外からは見通しの良い空間を提供する。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>設備エネルギーの省資源化や高効率化に配慮。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>施設給水に於いて、井水を70%以上利用し、資源の有効利用化に配慮した。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>近隣に対し風環境、光環境を悪化させることの無い、建物配置、高さに配慮。</p>

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される